

米澤新聞

発行所
米澤新聞社
米沢市門東町3丁目3番7号
電話 0238-22-4411
郵便振替口座 山形8-2719
©米澤新聞社 2015



街や自然を美しく

株式会社 西方石油店

本社 米沢市花沢 二六三四一七
☎ 22-181-2100 (代)

ぎょうの天気

山形

置賜

予想最高/予想最低
23°C/18°C



東の風後南東の風
村山 24°C/18°C



福島

中通 22°C/19°C



会津 24°C/19°C



東京

仙台

連携先拡大手厚い支援体制に

600カ所に迫るネットワーク

よるず支援拠点

中小企業や個人事業主などの相談に応じる「県よるず支援拠点」が開設1年を過ぎ、課題解決に携わる連携先が今月28日現在で600カ所に迫っている。さまざまな相談に応えるため、必要とされる連携先のネットワーク。日々拡大しており、よりスムーズな支援が可能になっている。

よるず支援拠点は、国が全国に設置している経営相談所。県内では昨年6月に開設された山形市と米沢市の2カ所に相談窓口が設けられている。米沢窓口は、山工学部街中サテライトキャンパスに設置され、昨年度は10カ月間、で相談者693人、課題解決件数330件を数えた。今年度の相談者数は7月末までで315人となり、昨年同月比で6月は16人増の89人、7月は35人増の105人とともに増加。要因について、米沢窓口ではセミナーの開催などで認知度が高まったことを挙げている。相談者を業種別で見ると、県全体で製造業が4割弱、次いでサービス業が2割強、卸売・小売業が2割弱と続く。相談者は社長が多く、年代によって高齢の場合には人材育成や事業継承、40〜50歳代の若手の場合は事業拡大や販路開拓などの相談内容に分かれる傾向があるという。

産への転換を目指すものづくり企業が共同開発に取り組み、特許取得を目指しているケースもある。米沢窓口の相談者を見ると、置賜地域が中心だが、山工学部との連携を模索する他地域の企業もある。同大への紹介案件は昨年度10数件を数え、付加価値の高い生



コーディネーターが中小企業などからの相談を受けている(米沢窓口)

相談件数とともに増えているのが、課題解決に携わる金融機関や中小企業診断士、大学などの連携先。窓口のコーディネーターが実際に足を運んだり、業務の中で繋がりを作ったりしながら、地道に数を増やしてきた。昨年度は10カ月間で383カ所を加え、今年度は8月28日現在で209カ所を追加、計592カ所に迫る。米沢窓口の金子信弘コーディネーターは「ネットワークが充実し、対応がより手厚くなった。ぜひ経営相談に訪れてほしい」と話している。問・米沢窓口0238(40)0764まで。

安保法案反対でデモ行進

参議院で審議されている安全保障関連法案の廃案を訴える米沢集会が30日、米沢市金池四丁目の北村公園などで行われた。集会は、憲法9条を護る米沢市民の会などで組織する「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動」米沢集会実行委員会(九里廣志代表)が開催した。この日は「戦争法案は廃案に8・30国会10万人・全国100万人大行動」と銘打ち、全国各地で集会が計画されており、県内でも米沢市のほか



が集結。主催者を代表し、九里代表が「憲法(安保法案を)違法だと指摘しているにも関わらず、国民の命を奪つかもしれない。孫に不安を及ぼさず、法案にも平和な